



2025年度国立大学フェスタ



令和7年度群馬大学地域貢献事業

「天明3年浅間山大噴火を語り継ぐ 鎌原かるたを通した災害教育」の かるた・動画展

一見て遊んで考える防災一



日時：2025年10月18日土曜日10時から15時

同年10月19日日曜日10時から13時

予約不要

場所：嬬恋村地域交流センター・小ホール

事前広報：2025年10月12日日曜日
(鎌原マルシェにてプログラム一部公開)

企画1：鎌原かるた大会と人気投票

企画2：群大生が受け継ぐ

「天明3年浅間山大噴火と復興支援」動画上映

企画3：役に立つ・防災展示

<同時開催：19日は群馬大学の研究を大ホールで紹介：大ホール>



まとめ大切な事一

1. 過去の災害を未来に伝える伝承の重要性
 - ・観音堂・石碑の存在
 - ・人から人に伝えること（和讃など）
2. 主観・客観の情報による的確な判断
 - ・毎日の人による観察（噴煙の形や色、臭気、山の形の変化、水の温度）と客観的な気象
 - ・情報や避難情報の確保と避難判断
3. 浅間噴火・関連災害を想定しての備え
 - ハザードマップと訓練の実施・日頃の備え

広報つまごい、令和6年8月1日発行第03号。許可を添えて掲載

主催：群馬大学大学院保健学研究科 辻村弘美・内田陽子

問い合わせ：電話027-220-8928（辻村研究室）

共催：浅間山ジオパーク推進協議会・群馬大学大学院保健学研究科

本事業・研究は群馬大学地域貢献事業及びJST 共創の場形成支援プログラム JPMJPF2301の 支援を受けました

本事業・研究は令和6年度群馬大学地域貢献事業「群大生が受け継ぐ天明3年の浅間山大噴火と復興支援」の内容を発展させた継続事業です。

群馬大学 アカデミックデイ

in
嬭恋

日時 **10月19日**
10:00 ~ 14:00

●スケジュール

10:00 ~ 開会式

10:15 ~ 参加研究者による研究紹介

11:00 ~ ポスター展示及び研究者との懇談、
ワークショップ
(研究者との対話や、研究紹介ポスターを
見ながら質疑応答を行います。)

13:00 ~ 地域住民と研究者との懇談会
(どなたでも参加できます。研究者と話し
てみたい方はぜひご参加ください。)

14:00 終了

※途中参加、途中退室可能。

※自由参加。事前申込みは必要ありません。

場所 **嬭恋村地域交流センター
大ホール**

吾妻郡嬭恋村大字鎌原 494 番地 45

0279-82-5566 (浅間山ジオパーク推進協議会事務局)

●研究者紹介

※参加者は変更となる場合があります

副学長 (ヘルスプロモーション担当) 教授 板橋 英之

◆主な研究・活動

環境中の有害物質の分析と除去に関する研究を専門としています。また、ベンチャー企業を立ち上げ、研究成果を生かしたバスソルトやタイルブロックなどの商品開発も行っており、特にブロックは関西・大阪万博で採用されています。群馬大学の研究が社会でどう役立っているのかを、楽しく解説します。

大学院理工学府 教授 弓仲 康史

◆主な研究・活動

皆さんが毎日利用しているスマートフォンには、最先端の情報通信技術が用いられています。スマートフォンに隠された集積回路技術に焦点を当て、その動作原理や魅力を解説します。また、計算機の歴史や、情報通信技術が医療と福祉分野でどのように活用されているかの先端応用と将来像を紹介いたします。

生体調節研究所 教授 服部 奈緒子

◆主な研究・活動

がんは「遺伝子の病気」とよく耳にしますが、実はそれだけではありません。遺伝子そのものに異常がなくても、遺伝子を操る「エピジェネティクス」という仕組みが狂うとがんになります。このエピジェネティクスについてわかりやすく解説し、その仕組みを利用したがんの診断法と治療法に関する最先端の研究を紹介します。

食健康科学教育研究センター 准教授 長井 万恵

◆主な研究・活動

女性の健康寿命の延伸を目的として、ライフコースを通じた健康維持に関する生活習慣因子などの探索のための疫学研究を行っています。1万人を超える看護職の女性を対象としたコホート研究から、20年を超える長期追跡調査で得られた研究成果について紹介します。



申込み 不要

費用 無料

お問い合わせ先 群馬大学アドミッションセンター Email: admissioncenter@ml.gunma-u.ac.jp

主催: 群馬大学アドミッションセンター (群馬大学地域貢献事業)

共催: 嬭恋村